トイレの見えるところに貼ってご使用ください。

モデル: VS-10
取扱説明書 1.5.2011
エコレット・コンポストトイレのご使用方法

トイレの使用後は必ず便器のフタを閉めてください。

コンポスターには排泄物を溜めてください。台所の食品ゴミを一緒に入れることも可能ですが、その場合はほぼ必ずショウジョウバエが発生します。溜めるのは排泄物だけにし、夏場に数回、砕いた樹皮、落葉樹チップまたは藁を数リットル分撒くようにすると堆肥化に有効です。ハエの防除には、牛舎で使用されている、卵を殺す殺虫剤（Spruzit/Neudorf、Dimilin など）や、飛ぶ昆虫を殺す殺虫剤（園芸用エアゾールまたは Baygon など）が適しています。効果を高めるため、ファンは 1 時間消しておきましょう。

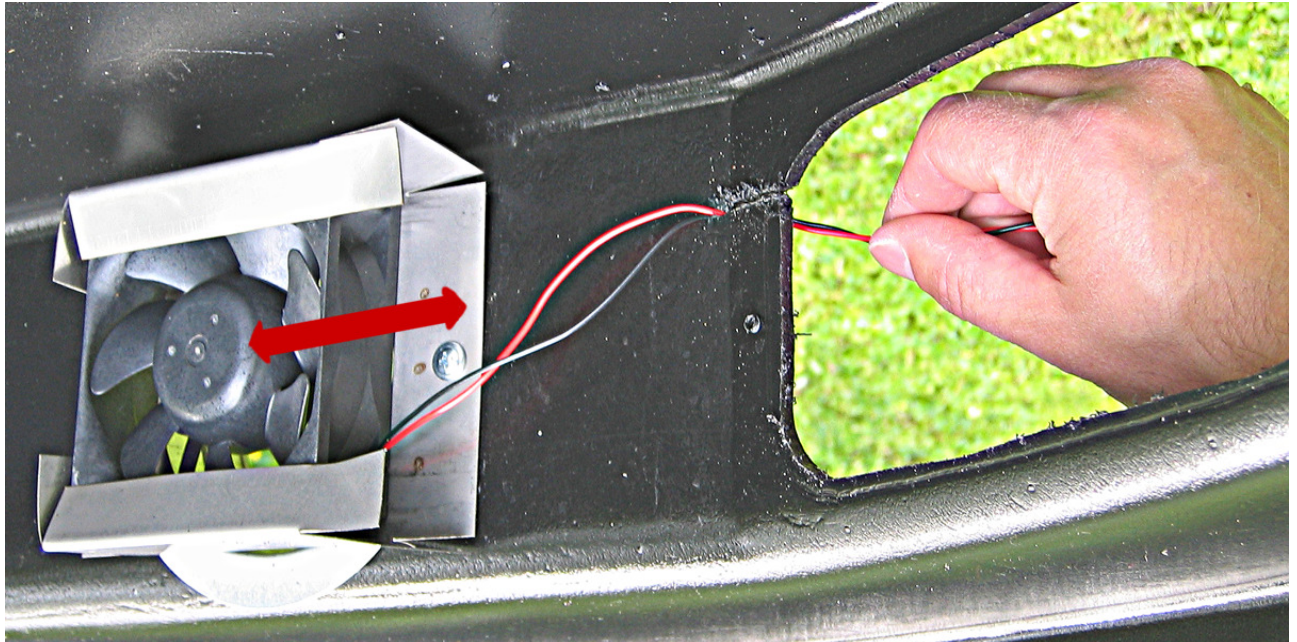
廃棄物が溜まってきたらコンポスターを 20～30cm 回し、仕切りの縁まで行き渡るようにすると、1 つの仕切りに入る廃棄物の量を増やすことができます。取り出し用ハッチを動かしても廃棄物が常に同じ仕切りに入る範囲を、コンポスターのフタの周縁部にテープなどの目印をつけておくとよいでしょう。

仕切りが一杯になったら、廃棄物全体にバケツ数杯分の土、砕いた樹皮、泥炭、または古い堆肥をかけます。最も古い仕切りを空にした後、底に泥炭、砕いた樹皮、落葉樹チップまたは藁を数センチの厚さに敷きます。仕切りを空にする際は、底にある布フィルターを破らないようご注意ください。ハッチを閉じる前にシーリングをよく清掃してください。

空にした仕切りは、取り出し用ハッチの縁にある取っ手か、同梱されているエコレットの回転用の棒を使用して、便器の下に来るように回転させます。車軸に十分油が差してあり、床からフタに延びた当て木でコンポスターのフタが持ち上げられていれば、回転は軽快です。回転させる前に、新しく廃棄物を溜める仕切りの取り出し用ハッチに、開始日を記載しておきましょう。仕切りを 2～3 回空にしたら、仕切りの布フィルターを洗うことを推奨します。洗浄の際は、シャワー、ブラシ、環境にやさしい洗剤を使用してください。ブラシは、必ず取り出し用ハッチの内側から外側に向けて使用してください。ファンを外し（後述）、ブラシで水洗いしてください。これで、コンポストトイレが再び使用できます。

コンポスターから出した廃棄物は熟成・堆肥化した土となっており、そのまま観賞植物に与えることができます。コンポスターからにじみ出る液体は無臭で虫を寄せ付けませんので、そのまま観賞植物に与えたり、数週間置いた後で、良質で栄養豊富な水やり用の水として使用できます。

液体タンクは、コンポスターを 1 回転し終えた際などに、時々水洗いしてください。水洗いは、金属製リムの後方に持上げられたホースを下方に下げ、ホース上方の、栓で閉じられた穴から内部に浄水を流して行います。

ファンの交換（写真参照）ファンの耐用年数は通常 5～10 年ですので、5 年ごとの交換を推奨します。ファンを交換する際は、ファンのコードから変圧器のコードをはずし、メンテナンスロのカバープレートを外し、換気パイプの先端のケースからファンを引き出して、新しいファンと交換します。汚れでファンが回転しなくなった場合は（故障の最も一般的な原因です）、ブラシで水洗いしてから元の位置に戻してください。ファン（12V/4W、92x92x32 mm）には、ベアリングと防湿機能が施されています。ファンは、エコレット販売店か、電化製品販売店で販売しています。予備のファンを常備しておきましょう。

ファンの電力消費を最小限に抑えるため、ファンは常に回しておくことを推奨します。長期不在の間ファンの電源を切っておきたい場合は、悪臭防止のため、汚水パイプに空気の流れを遮断する詰め物をするか、ゴミ袋で便器をしっかりと覆ってください。

エコレット・コンポストトイレは、ポリエチレン、熱亜鉛メッキ鋼、ステンレス鋼、アルミニウムなど、再生可能な材質で作られています。

トイレのコンポスターは、本説明書、および「堆肥化できる物質」に記載された目的や方法以外では使用しないでください。

不具合の修理－別荘用エコレット（Ekolet-VS）コンポストトイレ

不具合	原因と修理
屋外で尿の臭いがする	>コンポスターの底に泥炭が敷かれていない仕切りがあります。泥炭を入れてください。 >換気パイプの先に、空気の流れを下方に向けるキャップがあります。そのキャップをはずしてください。 >堆肥生成タンクのフタがきちんと閉まっていません。フタを押し、必要であればフタの縁の上に重しを置いてください。
トイレの内部にコンポストの臭気が入ってくる	ファンが回っていません。取扱説明書に従ってファンを洗い、それでも改善しなければ新しいファンに交換してください。 >堆肥生成タンクのフタがきちんと閉まっていません。フタを押し、必要であればフタの縁の上に重しを置いてください。 >冬の間は、堆肥生成タンク内部の中央にある金属製の網の上に、週刊誌のような空気の流れを遮断する板状のものを置いてもよいでしょう。ただし、これは蒸発も妨げますので、夏の間は外してください。 >トイレの室内で何か他の排気パイプが開いているか、室内に空気が入ってきていません。排気パイプを閉じ、吸気口を開いてください。 >建物が特殊なためにそれでも改善が見られない場合、換気パイプ（外径 110mm）の先に、電力制御装置が接続された 230V の強力な換気扇（ラドン換気扇）の設置を検討した方がよいでしょう。
液体排出パイプから液体が排出されない	>コンポスター底部の液体槽に、まだ 50 リットルの液体が蓄積されていません。 まったく問題はありません。 >コンポスターの側面にある軟らかい素材の水洗用パイプが金属製リムの後方に持ち上げられていないと、液体がこのパイプから排出されてしまいます。起こしてください。 >液体の排出パイプの先端にある液体カップがコンポスター底面の中央にある穴の下にありません。 中央に移動させてください。
空にしなければならないコンポストがまだ熟成していない	>年間に 1 つ以上の仕切りを使用しています。 大量に使用する際は、コンポストの仕切りに数リットルの樹皮、藁、またはこれらに相当する硬くコンポスト化しやすいものを 2～3 回入れるとよいでしょう。 >コンポスターに生分解性ゴミ袋があります。 入れないでください。
トイレの室内に小さなハエがいる	>台所の生ゴミがあると、ショウジョウバエはすぐにコンポスターに発生します。 ハエは使用説明書に従って防除してください。 生ゴミを入れないでください。適当な場所に　スプーン 2～3 杯の洗剤とリンゴ酢を入れたガラスコップを置いておくと、ハエが駆除できます。
便座が冷たいか、床下から臭いがする	>便座と床の間のすき間を埋めてください。
堆肥生成タンクの回転が悪い	>回転用の棒を補助に使用して回してください。 車輪の軸に油を差してください。 当て木などでタンクのフタを軽くしてください。

台所の見えるところに貼ってご使用ください。

堆肥化に適した廃棄物

生きていたものは基本的にすべて可能です

- ✓ **通常の排泄物**
- ✓ **赤ちゃんのおむつ**　２つに裂いてからコンポスターに入れること。オムツは場所をとり、合成繊維の部分は腐敗しません。
- ✓ **果物・根菜・野菜の皮**　最も一般的に使用される保存料は堆肥の中で次第に分解されます。
- ✓ **茶がらやコーヒーかす**　フィルターの紙やティーバッグも可。
- ✓ **その他の食品ゴミ全般**　キャベツやパンなど、大きな塊の廃棄物はいくつかに小さく分割すること。
- ✓ **食品や調理に伴う液体**
- ✓ **キッチンペーパー**　有害物質を吸っていないもの。
- ✓ **新聞紙や紙袋**　ゴミ入れの中敷に使用したもの。
- ✓ **土、植物ゴミ、木の葉**（場所をとります）
- ✓ **ごく少量の天然繊維**（ウール、木綿、麻、絹）
- ✓ **木片、おがくず（防腐剤を使用していない樹木のもの）、樹皮、チップ、泥炭、藁**

コンポストに入れてはならない物質

腐敗したり、コンポストを汚染する恐れのある物質

- × **灰または石灰**（アルカリ度が強くなります）
- × **有害・危険ゴミ**（油、ベンジン、溶液、ペンキ、殺虫剤、消毒剤、防腐剤、薬品、電池）
- × **洗剤液**
- × **プラスチック、ガラス、金属**
- × **生分解性ゴミ袋、合成繊維、皮革、ゴム製品**
- × **タバコの吸い殻、清掃時の塵**
- × **大量の紙**（プラスチック加工紙、ワックス加工紙等は一切不可）